

麦類赤かび病に関する情報(第5報)

令和8年4月21日

香川県農業試験場病害虫防除所

麦類赤かび病は、その病原菌が毒素を生成することから、麦類の重要病害虫に位置付けられています。麦の開花期～乳熟期が赤かび病菌に感染しやすくなる時期で、これからの時期の天候が発生の多少に大きく影響します。すなわち、開花期頃の気温が高く、高湿度の日が連続すると多発生しやすくなります。

最も重要な防除時期は開花始めの頃とその7～10日後です。本年の開花期（綾川町）は、はだか麦、小麦ともに平年より2～3日程度早くなりました。麦類の生育状況にあわせて、適期防除しましょう。

1. 麦類の生育状況

農業試験場における小麦‘さぬきの夢2009’の12月上旬播種の開花期は4月18日で、平年より4日程度早くなりました（表1：農業試験場作物・特作研究課調べ）。

表1 麦類の出穂及び開花の状況（農業試験場作況試験圃場：綾川町）

(4月21日時点)

麦種	品種	播種期	出穂期		開花期 ^{注1)}	
			平年値 ^{注2)}	本年	平年値 ^{注2)}	本年
はだか麦	イチバンボシ	11月上旬	3月23日	3月20日	3月31日	3月28日
		11月中旬	3月28日	3月26日	4月4日	4月2日
		12月上旬	4月4日	4月5日	4月11日	4月9日
小麦	さぬきの夢2009	11月上旬	3月27日	3月24日	4月10日	4月5日
		11月中旬	4月3日	4月2日	4月15日	4月13日
		12月上旬	4月12日	4月9日	4月22日	4月18日

注1) 開花期は40～50%の穂が開花する時期を示す。

注2) 平年値は平成27年播き～令和6年播きの10か年の平均値である。

2. 気象経過と赤かび病発生条件の出現状況（別表参照）

- 4月21日現在、高松市アメダスのデータをもとにすると、子のう胞子の飛散好適日は確認されていますが、多発生に好適な条件は認められていません。
- 高松地方气象台4月16日発表の四国地方の向こう1か月の天候によると、気温は高く、降水量はほぼ平年並みの見込みです。また週間天気予報によると、小麦‘さぬきの夢2009’12月上旬播種の開花期から7～10日後ごろにあたる4月25日～5月1日は、平年と同様に晴れの日が多く気温は高い見込みです。

3. 防除情報

- 現在、赤かび病に適用のある薬剤は、発病前に散布しないと防除効果がないため、開花始期には必ず防除を実施しましょう。
- 気象経過に注意しつつ、開花始期から7～10日後の2回目防除を行いましょう。

表2 赤かび病の防除時期、防除薬剤等

	防除時期	防除薬剤	希釈倍数	使用時期／回数
1回目	開花始め頃	トップジンM水和剤	1,000～1,500 倍	小麦：収穫 14 日前まで／ 出穂期以降は2回以内 はだか麦：収穫 30 日前まで／ 出穂期以降は1回
2回目	1回目の7～10日後	ワークアップフロアブル	2,000～3,000 倍	小麦：収穫 7 日前まで／ 3回以内 はだか麦：収穫 7 日前まで／ 3回以内

(資料：小麦、はだか麦の栽培しおり)